

授業科目 **病理学と健康**

【担当教員名】 岩淵 三哉	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
 病理学は疾患の基本を扱うことから、疾患の病態の理解や検査、診断、治療に直結しており、医療に従事する者にとって欠かすことのできない学問体系である。本科目では主に病理形態学を学ぶ。病理形態学は、疾患の原因、成り立ち、症状、経過、転帰などを、臓器における形態と機能の変化を通して学習する。主要な疾患を学ぶなかで、病理形態学の用語の理解にも努める。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
 病気の臓器における形態と機能の変化を臨床医学と結びつけて理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	病院における病理検査		講義
2	循環器系の疾患		
3	呼吸器系の疾患		
4	消化器系の疾患		
5	泌尿器系、生殖器系の疾患		
6	神経系、運動器系の疾患		
7	内分泌系、造血器系の疾患		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	スタンダード病理学 (第2版)	大西俊造 (編)	文光堂	2004年 東京
	シンプル病理学 (改訂第4版)	笹野公伸 (編)	南江堂	2004年 東京
その他の資料				

【評価方法】 出席状況、小テスト、レポート、定期試験などの成績から総合的に判定する	【履修上の留意点】 人体の解剖学と機能を理解しておくこと。
--	----------------------------------

看護学
科
専
門